Webアプリ開発　議事録

日時：2021年6月29日（火）

出席者：藤原、鈴木、千田、中岡、御代田

作成者：御代田　里奈

【議題】

* 朝のミーティング
* 提出物確認→提出
* 質疑応答の想定Q＆A
* 発表練習×5
* みんなから一言

【決定事項】

* チーム名の由来
  + ミニプロジェクトのことについて強調
  + 「発表で頂点を取るため」については記載のみで口頭では触れない。
* 振り返りシートについて
  + 実際にPDCA回した例についてはあえて質問ポイントとして取っておく。
  + シートの画像についてはプレゼン時は拡大表示等はしない。質問された際に、パワーポイントの「画面拡大表示」機能を使って拡大表示する。
* 質問の受け答え担当
  + 製品のコンセプト→千田
  + デザイン面→藤原
  + 機能面→中岡
  + 研修の成果について→御代田

【宿題事項】

* 明日に備えてよく寝ること。
* 明日の朝、個人で練習してウォーミングアップしておくこと。

【保留事項】

* 特になし。

【明日の作業予定】

* 成果発表会本番！！！

【議事の詳細】

＜想定Q&A＞

Q. Slackの質問チャンネルとの違いは？

・（想定ユーザーへのメリットに記載ある通り）宛先が違っても同じプラットフォームで質問を送ることができる。

・Slackの質問チャンネルはキーワード検索しかできないが、Qboxであれば質問タグでも検索できるため、検索しやすい。

・解決/未解決が見つけやすい。

Q. 事務局へのメリットが弱くないですか？

・事務局→質問の蓄積や分析への活用ができるようになる

→ただし、時間が足りず具体的な機能や方法について考えることができなかったためプレゼンでは触れなかった。

期日を変えることはできない→作業量や機能のボリュームを考えるとできなかった部分がある。

Q. なぜあえてSlackで意見出しを行ったのか。口頭でその場で出していった方が早くないのか。

→私たちチームの傾向として、考える時間の猶予があった方が意見が出やすかったため。

反対に口頭で意見出しをしていて、なかなか意見が出ず、ずるずると時間だけが過ぎていくこともあったため、Slack上で期限をつけて意見を募集した方が、最終的には早く事を進めることができた。

Q. slackの意見出しをすることで、他にメリットはありましたか。

→議事録担当の負担が減る。コピペで意見を記入できる。

Q. 知らない人とのコミュニケーションで工夫したことは具体的に何かありますか。（鈴木さん個人パート）

Q.検索結果でよくみられる質問が見つけやすくなるとの事ですが、どのような点でそれがメリットになりますか？

→よく見られるということは、同じような内容での困りごとがあるということなので、その内容を解決するためにすぐに見つけることができる点。

Q. チーム単位でPDCAを回した具体例はありますか。

→話し合いの着地点を明確にする、夕方のMTGは時間の制約上相談事項の共有のみ行い、課題の解消は翌日に回す。

Q.富士山のように大きくみんなに知ってもらえる、とあるが大きく、とはどういった基準になるのか

　→基準としては富士山の知名度になります。またそこにずっとあるという普遍性を踏襲したいという意味でみんなに知ってもらえるという表現をしました。(勝手に考えたので相談させてください)

Q.QboxのQとは何ですか？

　→Questionの頭文字です。

Q. シンプルにした理由は？

→研修に使うシステムだからこそ、実用性を考え必要な要素だけ入れるようにした。

5月の名刺管理は習った機能を使うために必要ない機能も入れた。しかし、「オンライン研修で幸せになれるシステム」なので、この目的に合う機能やデザインを考え「シンプル」にした。

Q.エラー時の対処法のプロセスとは具体的には何？

①エラーメッセージを解読する。

②別ファイルへのパスや変数名が間違っていないか確認する。

③DB確認、DaoTest、デバッグを行ってみる。

④それでも解決できなければ、講師を呼ぶ。